

## おせち料理、モチは どこまで大丈夫か？

「市販の切り餅などは産地が『国産』としか表示されないため、汚染もち米が紛れ込む可能性がないとは言えない切れません」

こう指摘するのは、品質管理アドバイザーの河岸宏和氏だ。自治体によるコメの検査では、千葉県白井市と栃木県日光市のもち米から1キロ当たり50粒前後を検出、2011年11月に暫定規制値を超える汚染米が出た福島県伊達市の農家でも

もち米を作っていた。

福島県によると、県産のもち米はコメ全体の2%。だが、30キロの米袋換算で20万袋に上る。本誌は代表的な餅メーカー「佐藤食品工業」（通称・サトウ食品）、「越後製菓」「きむら食品」に産地などを聞いた。サトウ食品は新潟を中心に北海道から岩手、宮城、秋田、山形、佐賀、滋賀などを挙げた。福島産の新米（23年度米）は「現段階では使用

していない」。越後製菓は「新潟、北海道、佐賀が主体。福島産は数年来使用していない」。きむら食品は「新潟、岩手、山形、秋田、北海道、千葉、富山、長野、岐阜、九州などで福島の新米の購入・使用予定はない」という。自主検査は3社とも実施している。情報量の乏しいもち米では、メーカーの情報に参考にした。

おせち料理はどうか。

「カズノコやエビ、クリなど具材の大半は輸入品。気になるのは卵焼きと最近定番のローストビーフ、つまり牛肉でしょう」（前出・河岸氏）

自治体による牛の検査結果では、11月30日までの検査数は3万7674点。うち規制値を超えたのは152点だが、100粒超えは848点あった。卵に関しては205点が検査され、セシウムの検出例はなかった。鶏肉は102点のうち、7月に茨城県大子町産から5粒が検出されて以降、不

サンデー毎日

2012.1.1・8

検出が続く。

「鶏の餌は輸入配合飼料が多いと言われるが、水、空気、飼育環境を通じた汚染の可能性は残る。しかも鶏肉の産地表示は、もちや牛肉同様に『国産』止まり。

消費者は県名をチェックし、記載がなければ店に聞いて買う買わないを決めるしかない」（同）  
安心できる正月には、消費者のちよつとした努力が必要なようだ。